

ぶながやっ子ハウス 新規利用者対象説明会 資料

◎ぶながやっ子ハウスの開所時間

平日
開所 13:00 閉所 19:00 延長保育 20:00まで
土曜
開所 08:00 閉所 18:00 延長保育 ナシ
夏休みなど、学校の授業がない平日
開所 08:00 閉所 19:00 延長保育 20:00まで

※状況により開所時間前の受け入れも可能です。ご相談ください。

※延長保育をご希望の場合は、16:00までにご連絡ください。

◎ぶながやっ子ハウスでの一日

通 常 保 育	13:00	開所 スタッフミーティング、清掃、施設内点検など
	15:00	お迎え 宿題、自由遊びなど
	16:00	おやつ 宿題、自由遊び、全体遊びなど
	18:00	帰宅 自由学習、自由遊びなど
	19:00	夕食（有料） 自由学習、自由遊びなど
延 長	20:00	閉所

※19:00以降は有料の延長保育です。（夕食込み、400円/1日）

◎子どもたちのお迎えについて

子どもたちのお迎えは、17:00以降にお願いします。

※子どもたちだけでの帰宅はご遠慮ください。

ぶながやっ子ハウス 新規利用者対象説明会 資料

◎持ち物

タオルかハンカチ、歯磨きセット、帽子

※夏休みなどには、着替えや筆記用具も持たせてください。

※小学校に必要なもの、玩具や菓子などは禁止です。

※持ち物には全て、記名しておいてください。

◎おやつや食事

ぶながやっ子ハウスでは市販のお菓子やインスタント食品を子どもたちに与えることがあります。時には、ファストフードやカップ麺などを与えることもありますのでご了承ください。

※アレルギーがある場合は、必ず事前にお知らせください。

◎お迎えの時間

お迎えは、原則として17:00以降にお願いします。早めのお迎えの際には、必ず事前にご連絡をお願いします。16:00～16:30はおやつの時間ですので、この時間のお迎えはできるだけ避けてください。

◎遅刻や欠席、早退の連絡

遅刻や欠席、早退の際には、必ず事前にメールでご連絡ください。

※ご連絡がない場合、保護者様に確認のための電話を致します。

◎メールアドレス登録のお願い

ぶながやっ子ハウスからは主にGmailを使ってご連絡致しますので、普段お使いのメールアドレスをお知らせください。

※Gmailが送受信できるように設定しておいてください。

◎利用料のお支払い

月末か月初めに利用料の請求書を配布します。利用料のお支払いは、当該月の月初めにゆうちょ銀行口座に振り込んでください。

お休みされた際の利用料、悪天候や感染症の流行などにより閉所した際の利用料などは払い戻しできません。ご了承ください。

退会や休会のお申し出は、前月末までをお願いします。前月末までにお申し出がない場合、利用料をお支払い頂くことがあります。

2026年春休み中の開所予定

◎期間：04/01(水)から小学校入学式前日まで

- ※ 子ども園での受け入れがない場合、3月末から受け入れ可能です。
- ※ 利用料は、通常の利用料に含まれます。
- ※ 春休みだけや夏休みだけなどの利用はお断りしています。

◎開所時間

平日 08:00～19:00（延長保育は20:00まで。夕食あり）

土曜 08:00～18:00（延長保育はありません。）

- ※ お出かけしますので、遅刻や早退の場合は事前にご連絡ください。

◎持ち物

- ・帽子、水筒（肩に提げられるもの）
- ・ハンカチかタオル
- ・歯磨きセット
- ・着替え（着替えを入れる袋）
- ・お弁当
- ・筆記用具（2 Bより濃い鉛筆、消しやすい消しゴム）

- ※ 持ち物には必ず記名してください。
- ※ お弁当の注文を受け付ける予定です。（1食400円）
- ※ 鉛筆の持ち方、数の数え方、名前の書き方などの練習をします。

オススメする入学前準備

◎1～100まで数える練習（カウントダウン）

◎字を読む練習（特にひらがな）

◎名前を書く練習

◎登校準備（楽しいから学校に行くのではありません。）

◎日常の体験を大切にする（共同作業やお手伝いなど。体験から学ぶ姿勢づくり。）

学童が目差す「健全育成」とは

学童は「放課後児童健全育成事業」を行う施設です。ただの託児所ではありません。子どもたちの「健全育成」を図る一種の教育機関と言えます。

「健全育成」とは、子どもたちが持つ全ての能力や特性を十分に伸ばすことです。

ぶながやっ子ハウスは、子どもたちの健全育成には、ゆったりした気持ちで過ごす「親子の時間」が大切だと考えています。家庭でのそんな「親子の時間」を確保するために、宿題を終わらせてから帰宅させることを大きな目標の一つとしています。

日常の生活や体験から子どもたちが学び取ることは、学校の教科書から学び取ることよりもずっと多く、ずっと大切なことばかりです。特に、近頃、話題となることが多い「生きる力」は、教科書から学び取ることはできません。そんな「生きる力」は成績や学力にも直結しているのです。

できれば、宿題をしない時間を、子どもたちと一緒に料理を作ったり、食事の準備をしたりする時間にしてあげてください。そんな中から、子どもたちは算数や理科に必要な知識や体験を積みあげていきます。子どもたちと一緒に野外にお出かけしたりするのもオススメです。そんな中で交わす会話の中から、子どもたちは読解力の基礎となる言葉の意味や使い方を学びます。体験を通して身につけた力は、一生ものの力になってくれるはずなのです。

ぶながやっ子ハウスはただの託児所ではありません。いつでも、一人一人の子どもたちの成長をつぶさに観察し促し続けています。

子育てや教育に関する悩み事やご相談などありましたら、どんなことでもかまいません。お気軽にスタッフまでお申し付けください。